

優れた防災計画をたてるために必要な過去の災害を記録した文献を復刻。

# 日本災害資料集

地震編第二回全6巻

伊津野 和行 編・解説

クレス出版



「東京大正震災誌」



立命館大学理工学部教授

伊津野 和 行

前回、大正末期の関東大震災以降、昭和20年代までの地震資料を復刻し、日本災害資料集地震編を発行した。しかし、地震災害に関して復刻すべき貴重な資料はまだ多い。埋もれている資料に光を当て、さらにさまざまな過去の事例に学ぶことの意義は大きい。そこで、地震編の第二回を刊行することとした。

東日本大震災からの復興が思うように進まない中、人びとの記憶から震災のことが遠のきつつある。次の地震の発生確率が高まるのに対して、地震に備える気持ちは逆に緩んでいく。こういった現象は、これまで幾度となく繰り返されてきた。記憶の風化が、次の震災の悲惨さを増幅することは誰もが想像できることであるが、常に過去のニュースを心に留め置くことができないのも事実である。しかし、過去の記憶を正しく後世に伝えることは、現在に生きる者の務めでもある。

震災を記憶にとどめ、防災の知恵を次の世代に正しく伝える。そのためには、過去の震災記録から多くを学ぶことが大切である。本資料集は、震災直後もしくは1～2年のうちに刊行されたものがほとんどであり、当時の様子をきわめてよく伝えている。ぜひ多くの人に読んでいただきたい。

第二回では、前回採録しなかった大正12年の関東大震災と昭和2年の北丹後地震に関する資料を加えた。昭和8年三陸地震、昭和23年福井地震と昭和27年十勝沖地震に関しては、前回割愛した資料を入れた。また、昭和10年に発行され、当時の第一級の研究者らが著した「防災科学」第2巻の「震災」を復刻した。当時の学問水準を知る上で貴重な資料である。

日本は自然災害の多い国であり、大地震だけでも数多くの被害を受けてきている。しかし、その大地震に何度も遭遇する人は稀であり、大半の人は初めて地震の巨大な力に直面させられる。時代は変わっても、人びとの取る行動や置かれる心理状態に大きな変化はない。本資料集で書かれている被災状況の中に、一種の普遍的な教訓を読み取ることができるであろう。本資料集を活用し、明日への防災に役立てていただきたい。

第12巻

(9) 十勝沖地震による土木工事の被害

3. 結 び

- (1) 十勝沖地震は震源地は海底であるが強震地域は陸上の広範囲に亘っている。尙被害地は大部分沖積地帯に限られており、被害の程度もまた著しい。
- (2) 震動方向は始め北西―南東、次いで略東西の震動が顕著の様に認められるが、地域的には矢張り複雑な円運動を示している様であり、総べての地震の震動状態は、プロック内に於て特異な様貌を呈したと思われる。
- (3) 震動の地上に現われる強弱は、地理学的な遠近関係にはむしろ抛らず、地質学的な基盤の影響が重要な要素と思われる。即ち震源地に近い日高系の基盤にある広尾は弱く、震源地に遠い泥炭・湿地帯の利別附近の災害が著しい。
- (4) 沖積地帯のうち泥炭地・湿地帯地域の被害が大で、多くの地割れを生じている。然しながらこの地割れは概して泥炭・湿地帯等の如き、余りに軟弱な所に於ては尖滅の傾向あり、道路・埋立・堤防等の如き若干の固さを有する所に於て著しい。
- (5) 地割れの方向は震動方向と当然関係あると思われる（これは地域的には言える）が全般的には現在の所不明である。ただ海岸線附近のものは海岸線に平行であるものが多い。
- (6) 砂地・段丘地帯及び堅固な地盤上の被害は僅少である。
- (7) 地罅りに就いては、地形的にも従前より若干滑動していたものが、震動により促進せられたものである。
- (8) 被害及び地形変化が沈降現象を伴う場合は、地盤の悪い所に限られている。
- (9) 井戸水は濁つたが何れも数日にして平常に復している。

第7巻

震 災 防災科学（2）

岩波書店／昭和14年

【内容】地震（和達清夫、坪井忠二）、山崩、地汙、陥没など（宮部直己）、火山（津屋弘達）、耐震及び耐風家屋（斎田時太郎）、震災避難心得（今村明恒）、地震時化学薬品の扱ひ方（大島義清）

第8巻

東京大正震災誌

東京市役所庶務課／大正14年

【内容】第一編 災害（災害概説、建物被害、人的被害、交通被害、公共事業、教育学芸宗教慈善、衛生、経済）、第二編 救護（概説、保健衛生ニ関スル救護施設、衣糧ニ関スル救護施設、住居ニ対スル応急施設、職業ニ対スル施設、其ノ他ノ施設）、第三編 復旧（概説、住居復旧、交通復旧、上水道事業ノ復旧、瓦斯事業ノ復旧、電力供給事業ノ復旧、教育学芸娯楽事業ノ復旧、経済界ノ復興、復興復旧計画、余録）

第9巻

丹後地震誌

永浜宇平著／丹後地震誌刊行会／昭和4年

【内容】第一編 前紀（地震の突発、記録、正体、記念碑、火山、改元、天変、洪水、餓辰、却火）、第二編 本紀（地震の原因、性質、震源、震波、震央、震度、震動、震向、地変、結果）、第三編 後紀（地震の飛電、震恤、救援、救護、編緯、報道、悲哀、慰安、復興、征服）

第10巻

昭和八年三月三日 三陸沖強震及津浪報告

中央气象台／昭和8年

【内容】論文 三陸沖強震及津浪に就て（国富信一）、三陸津浪に関する二三の考察（本多弘吉）、牡鹿半島は沈降しつつありや（鷲坂清信）、三陸地震の習性（石川高見）、三陸沖強震に依る地震縦波の速度に就て（竹花峰夫）、三陸沖強震の余震（本多弘吉・竹花峰夫）、検潮儀に依る三陸津浪の調査報告（関口鯉吉・中野猿人）、津浪の到達時刻に就て、報告、雑報

第11巻

福井地震誌

名古屋鉄道局／昭和25年

【内容】概説、震災直後の緊急措置、鉄道の被害とその復旧、運転及び運輸、経理、厚生及び保健、復旧対策事務の暫定組織、各鉄道局その他の応援人員、鉄道公安、連合軍関係、災害発生の際における応急処理体制

第12巻

十勝沖地震調査報告 その二（第6巻の続き）

十勝沖地震調査委員会／昭和29年

【内容】土木篇 道路被害について（倉田宗章）、鉄道の被害（真井耕象・北郷繁）、河川の被害（大坪喜久太郎・尾崎晃・堀謙治）、港湾の被害について（真島恭雄）、橋梁の被害（今俊三・前田幸雄）、コンクリートの構造物について（前田直方）、特殊構造物（サイロ）の被害とその弾性学的検討（酒井忠明）、上水道及び下水道の被害（林猛雄）、十勝沖地震による土木工事の被害（北海道開発局土木試験所）、十勝沖地震災害前後に於ける飲料水の科学的考察について（高木一親・倉持照三郎・中村達郎）、建築篇 鉄筋コンクリート造及び鉄骨構造（横田道夫）、組積造（西忠雄）、木造建築物の被害について（大野和男・洪悦郎・柳沢文夫）、十勝沖地震に於ける学校建築の被害（落藤藤吉・柳沢文夫）、十勝沖地震による官庁営繕の被害について（北海道開発局営繕部）、国鉄関係建物被害について（札幌鉄道管理局施設部建築課）、電気篇 十勝沖地震による電気関係の被害状況について（松本正・小池東一郎）、農水産篇 農耕地及び水産関係被害（権平昌司）



# 日本災害資料集 地震編第二回全6巻

伊津野 和行 編・解説

第7巻	震災 防災科学(2)	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-724-7
第8巻	東京大正震災誌	定価 8,000円(税別)	ISBN978-4-87733-725-4
第9巻	丹後地震誌	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-726-1
第10巻	昭和八年三月三日 三陸沖強震及津浪報告	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-727-8
第11巻	福井地震誌	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-728-5
第12巻	十勝沖地震調査報告 その二	定価30,000円(税別)	ISBN978-4-87733-729-2

A 5判、B 5判(第12巻)／上製クロス装 揃定価 86,000円(税別)  
平成25年3月末日刊行 ISBN978-4-87733-730-8(セット)

## クレス出版好評既刊書

# 日本災害資料集 地震編全6巻

伊津野 和行 編・解説

第1巻	昭和五年十一月二十六日 北伊豆地震報告	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-691-2
第2巻	三陸大震災史	定価 6,000円(税別)	ISBN978-4-87733-692-9
第3巻	南海大震災誌	定価25,000円(税別)	ISBN978-4-87733-693-6
第4巻	福井震災誌	定価21,000円(税別)	ISBN978-4-87733-694-3
第5巻	北但震災誌、昭和十九年二月七日 東南海大地震調査概報	定価16,000円(税別)	ISBN978-4-87733-695-0
第6巻	十勝沖地震調査報告 地震篇	定価13,000円(税別)	ISBN978-4-87733-696-7

揃定価 95,000円(税別) ISBN978-4-87733-697-4(セット)

# 日本災害資料集 水害編全7巻

吉越 昭久 編・解説

第1巻	水災と雪災、水害の日本	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-683-7
第2巻	大正八年 福山水害誌	定価 8,000円(税別)	ISBN978-4-87733-684-4
第3巻	昭和十年 群馬県風水害誌	定価15,000円(税別)	ISBN978-4-87733-685-1
第4巻	水害の総合的研究	定価11,000円(税別)	ISBN978-4-87733-686-8
第5巻	北上川流域水害実態調査	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-687-5
第6巻	カスリン台風の研究	定価19,000円(税別)	ISBN978-4-87733-688-2
第7巻	昭和二十二年 東京都水災誌	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-689-9

揃定価 95,000円(税別) ISBN978-4-87733-690-5(セット)

# 気象要覧 全13巻 中央气象台 編纂

第1回配本	明治33年～明治44年	全5巻	揃定価88,000円(税別)	ISBN4-87733-190-5
第2回配本	明治45年～大正8年	全4巻	揃定価74,000円(税別)	ISBN4-87733-191-3
第3回配本	大正9年～大正15年	全4巻	揃定価78,000円(税別)	ISBN4-87733-192-1

揃定価240,000円(税別) ISBN4-87733-189-1(セット)